



太陽の子保育園
2019年11月

10月は運動会に遠足と雨に悩まされる月となりましたが、気がつく公園の樹木はすでに色づき、秋の深まりは着実に進んでいるようです。

現在行っている個別面談では4月当初から約半年間のお子様の園での様子や活動を、限られた時間ではありますがお話しをさせていただいています。面談を通じて、成長をより一層感じていただければと思います。すでに面談を終えた保護者の皆様につきましては、お忙しい中お越しいただき本当にありがとうございました。

これからも沢山の楽しい行事を控えています。気候の変化で体調を崩しやすくなってきますが、生活リズムを整え元気に登園していただければと思います。

お迎え時の 受け渡し場所の 変更について

夕方 17:50 以降のお迎えでは玄関にて受け渡しを行っていましたが、「玄関が込み合っ大変」とのご意見をいただきました。これについて園内で検討を行い、受け渡し場所をホールに変更させていただきます。よろしくお祈りします。



令和2年度 保育園入園のしおりを配布中です

来年度4月以降に羽村市内の保育園に入園をご希望される方に対して「保育園入園のしおり」「入園申込書」「勤務証明書」を現在11/1より配布します。ご必要な方は受付までお声かけください（提出は羽村市役所子育て支援課保育・幼稚園係窓口12/2～12/15）。

運動会中止に伴うビデオ撮影会にご協力いただき 本当にありがとうございました

今年度の親子運動会は、台風によるスポーツセンター休館などもあり、開園以来初めての中止となりました。とても残念に感じるとともに、保護者の皆様にはご心配とご迷惑をおかけし誠に申し訳なく感じています。そのような中、急遽開催した「ビデオ撮影会」では、多くの方にご参加いただき感謝申し上げます。おかげさまで、これまで練習してきた成果を十分お見せすることができたと思います。

※ビデオ撮影会の様子は保育園ホームページ（保護者の方専用ページ）、「SUNSUN 動画」からご覧いただけます。



もちつき大会 (12/6) 餅つき手を大募集!!

12月6日(金)に実施する「もちつき大会」でつき手としてご協力いただける保護者の方を募集しています。詳細は後日配布するお便りをご覧ください。



11月の予定

- 1(金) 調理保育(らいおん)
- 5(火) 保育参加・懇談会(うさぎ)
- 6(水) 秋の健診(ぱんだ以外)
- 6(水) 保育参加・懇談会(ぱんだ)
- 7(木) 保育参加・懇談会(くま)
- 8(金) 保育参加・懇談会(らいおん)
- 11(月) 体育指導(幼児)
- 14(木) 避難訓練
- 16(土) 保育研究大会
- 18~22 職場体験(羽1)
- 18~22 身体測定
- 20(水) 音楽指導(幼児)
- 28(木) 職員園内研修
- 29(金) お誕生日会



12月の予定

- 3(火) 職員園内研修
- 4(水) 音楽指導(幼児)
- 6(金) もちつき
- 9~13 身体測定
- 10(火) 体育指導(幼児)
- 12(木) 避難訓練
- 14(土) 大掃除
- 19(木) 音楽指導(幼児)
- 20(金) 職員会議
- 25(水) 調理保育(らいおん)

はむら保育展

11/23(土) 10:00~16:00

保育展は、羽村市内にある認可保育園が、普段の保育の様子を広く皆様に紹介するイベントです。今年度の保育展は、ぱんだ組の田中菜子が担当となります。

羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」

しつけについて(前編)

続 子どもへのまなざし 佐々木 正美著(福音館書店)より抜粋



子どもが大きくなるにつれて、ききわけがないとか、約束を守らないとか、うそをつくとかが目立ってきます。しつけとの関係で、これらのことをどう考えていったらいいのか、お話をいたします。

子どものやりたいようにさせていると、義父から「甘やかしていると、わがままになるから、小さくてもだめなことは許してはいけません」といわれ、自分の育児にとまどいを感じてしまいます。(五歳と二歳の子の母親)

先生は本のなかで「しつけはくり返し教えること、そして待つこと」と、書いていらっしゃる。子どもの育児には待つという姿勢が大切なのに、自分がまったくできないということに気づき、育児のむずかしさを実感しました。お伺いしたいのですが、最近、息子がまつげを引っ張っているのですが、私が「早くしなさい」としかったりしているために、子どものストレスになっているのでしょうか。(二歳の子の母親)

子どもに教え伝えるまでがしつけの役割

しつけを考える場合、「これはやっちゃいけないんだよ」「こういうときは、こうしなければいけないんだよ」などと、いわば社会のルールや文化を、子どもに教え伝えるところまでがしつけだと思います。そして、子どもが納得してできるようになるまで、待っていてあげるのがいいしつけで、そのことが本当に教えたことになるんですね。

ところが、親が待てないで、今すぐに、強制的にでもやらせるということは、子どもの自尊心を傷つけながら、しつけをするということになってしまいます。ですから、そういうやり方では強制的なしつけによって、子どもをしがわせることができて、いずれ、どこかで反撃にあいますよ。

その場ではうまくしつめたようにみえても、結局は、長い目でみるとマイナス部分のほうが大きいと思います。子どもに対しては「こういうことはしっちゃいけないんだよ」「こうしなければいけないんだよ」ということを、くり返しくり返し、根気よく伝えてあげただけでいいと思うのです。

ほうっておくと他の人の大きな迷惑になるとか、取り返しのつかない事故になってしまうような場合には、子どもの自尊心を傷つけることがあっても、有無をいわさずに止めなくてはいいと思います。しつけは待つことだとか、自尊心がどうのこうのなんて、いってはいら

れないこともあるでしょう。だけど、なぜこんなに急に止められたのか、禁止されたのか、そういうことは、子どもにもわかるものです。「その他のことでは、あの先生はこんなことはいわないんだ」「僕が本当にあぶないことをやったから、急に先生は止めたんだ」というようなことは、たいてい、どんな子どもにだってわかると思います。

ですから、私たちがしつけをするときに大切なことは、まず、こうしたほうがいいということ、やってはいけないことを、子どもにしっかりと伝えて、できるようになるまで待ってあげるといふ姿勢を持つことだと思います。けれども、伝えたとはどうなってもいいということではなく、場合によっては、今、禁止しなければいけないことは禁止するという気持ちも、しっかり持つ必要がありますね。

そして、自分が伝えたことを子どもがすぐにできるようにならないと、気がすまないという考えを持たないことです。そういうやり方はもっとも下手な育児で、子どもの自尊心を傷つけますし、自律性の発達をそこなってしまう。待ってられることは待ってあげながら、教えていくのが上手なしつけだと思います。

二歳のお子さんがまつげを引っ張るといふ質問ですが、たぶん、子どもに大きな欲求不満やストレスがあるのではないのでしょうか。お母さんにしかられるから、そういうことをするのかどうかは、単純にはいえないかもしれませんが、子どもが望んだことが満たされていない場合、それが欲求不満となって、そういう行動を示すということは、しばしばあると思います。もしかすると、これからはまつげやまゆげ、あるいは毛髪をつぎつぎ引きぬいていくかもしれませんね。

私が臨床の場で出会った、毛をぬいてしまうという中学生や高校生は、たいてい、親の過剰な期待に苦しんでいました。しかし、幼い子どもの場合は、親の過剰な干渉や期待というよりも、子どもの望んでいることが、十分に満たしてもらっていないということが、多いのではないのでしょうか。

ですから、質問にあります二歳のお子さんの場合には、親のいうことをよく聞かせようとするよりも、それより何倍も、子どものいうことを聞いてあげようという態度で、日々接するのがいいと思います。そして、この子のおだやかな笑顔は、私がつくっているんだという喜びを、感じることができるような気持ちを持ってくだされば、きっとそういうことも減ってくると思います。

→ 後編(12月の園だより)につづく